

建設発生土の官民有効利用マッチングシステム 利用手引（案）

令和２年１月

国土交通省

総合政策局 公共事業企画調整課

インフラ情報・環境企画室

目 次

ページ

1. 建設発生土の官民有効利用マッチングシステム利用手引（案）の位置付け	1
2. 用語の定義	1
3. 建設発生土の官民有効利用マッチングシステムの利用方法	
3. 1 官民マッチングの利用手順	2
3. 2 官民マッチングシステム利用登録	3
3. 2. 1 対象者登録基準	3
3. 2. 2 公共工事発注者	4
3. 2. 3 官民マッチングシステム利用費用	4
3. 3 官民マッチング対象工事の情報登録・変更方法	4
3. 3. 1 対象工事条件	4
3. 3. 2 情報登録の内容	5
3. 3. 3 情報登録・変更の方法	6
3. 4 工事情報の公開・閲覧方法	6
3. 4. 1 事務局による公開方法	6
3. 4. 2 工事情報の閲覧方法	6
3. 5 官民マッチング調整方法	11
3. 6 官民マッチング調整結果の登録方法	12
3. 6. 1 情報登録の内容	12
3. 6. 2 情報登録の方法	12
4. その他	13
5. 官民マッチングにおける問合せ先	13

巻末資料

- ・ 建設発生土の官民有効利用マッチングの運用の流れ
- ・ 様式集

1. 建設発生土の官民有効利用マッチングシステム利用手引（案）の位置付け

本利用手引（案）は、「建設発生土の官民有効利用マッチング運用マニュアル（案）」（令和元年8月、以下「運用マニュアル案」という。）に基づき、建設発生土の官民有効利用マッチングシステム（以下、「官民マッチングシステム」という。）を利用する際の詳細を示したものである。

なお、本利用手引（案）は、運用マニュアル案に基づき「建設発生土の官民有効利用マッチングシステム利用手引（案）」（平成30年7月、以下「マッチングシステム利用手引（案）」という。）の内容を見直したものである。

2. 用語の定義

本書における用語の定義は次のとおり。

- ①公共工事：国の機関（国、独立行政法人^{※1}、政府関連企業等^{※2}）、地方の機関（都道府県、市区町村、地方公営企業、その他^{※3}）が発注する工事。

※1 鉄道建設・運輸施設整備支援機構、水資源機構、都市再生機構、土木研究所、建築研究所等

※2 道路関係会社、空港関係会社、日本下水道事業団、特殊法人、認可法人、国立大学法人等

※3 地方独立行政法人、公立大学法人、地方公共団体の組合・開発事業団、地方公社、土地改良区。 土地地区画整理組合は民間扱い

なお、特に断らない限り、電力、ガス、電気通信、鉄道（J R 含む）の各社が発注する工事及びP F I 法に基づきS P Cが実施する事業も公共工事に含むものとする。

- ②民間工事：民間機関が発注する工事。

- ③公共工事土量調査：公共工事発注者として、工事発注前から建設発生土等の搬出入状況を把握し、これらの情報を基に建設発生土等の工事間利用調整を行うとともに、その結果を確認することによって、建設発生土等の工事間利用を促進することを目的として実施する調査。工事発注前に実施する「予定調査」と、工事間利用調整の結果等を把握するために工事完了後に実施する「実績調査」の2種類がある。

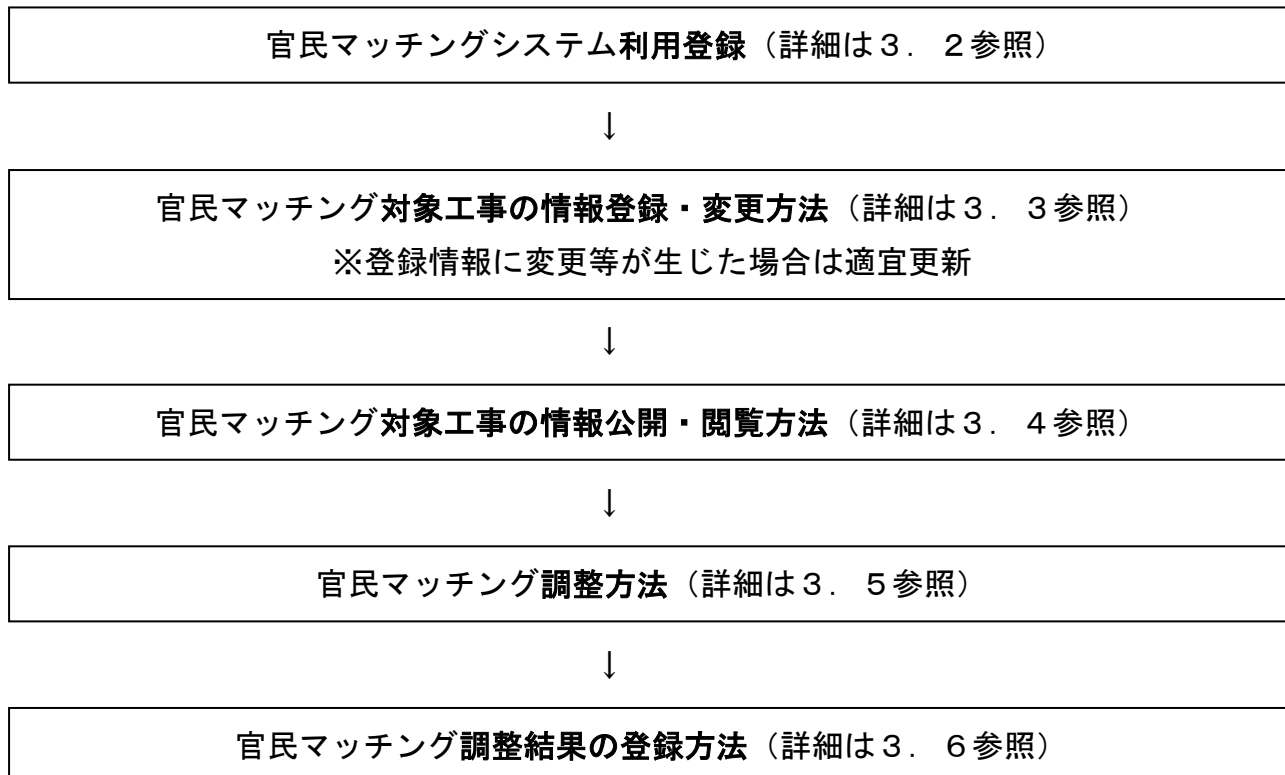
- ④建設発生土情報交換システム：公共工事土量調査の工事データ登録、更新、検索を支援するオンライン情報交換システムであり、設計・積算から発注、施工、完了に至るまでの建設発生土の利用に関する最新の情報を提供することにより建設発生土の工事間利用の促進に活用されることを目的として、（一財）日本建設情報総合センターが運営している。

- ⑤官民マッチング運営事務局：官民マッチングに参加する民間機関の登録資格審査、工事情報更新依頼等官民マッチングの円滑な運営を推進するための諸事項を実施する。事務局は、国土交通省総合政策局公共事業企画調整課 インフラ情報・環境企画室に置く。

3. 建設発生土の官民有効利用マッチングシステムの利用方法

3. 1 利用手順

官民マッチングシステムは次の手順で利用する。



3. 2 官民マッチングシステム利用登録

3. 2. 1 対象者登録基準

1) 登録基準

官民マッチングに参加できる対象者とその登録基準を次のとおりとする。

(1) 公共機関（公共工事発注者）

公共機関の登録基準は特に定めない。

(2) 民間機関（公共工事入札参加資格保有者）

民間機関の参加登録基準は、原則、国及び地方自治体の工事入札参加資格保有者（以下、「公共工事入札参加資格保有者」という。）とする。

なお、参加登録時に次に該当する者は登録できない。

- ・ 地方自治法施行令第167条の4の規定に該当する（入札参加禁止）
- ・ 国等から指名競争入札参加者としての指名停止又は警告を受けている

(3) 民間機関（公共工事入札参加資格保有者以外）

民間機関のうち、公共工事入札参加資格保有者以外で参加できる者の登録基準は次のとおりとし、該当する官民マッチング対象工事ごとに登録すること（登録審査を受ける）を原則とする。

① 工事発注者

土木工事の発注者は、開発許可等の関係する法律に基づく許可取得者、建築工事の発注者は、建築基準法に基づく建築確認申請取得者とする。

② 工事受注者

工事受注者（元請者又は下請者、下請者には二次下請以下も含む）は、建設業法の建設業許可業者であり、官民マッチング対象工事契約済みの者とする。

(4) 民間機関共通

(2)、(3)の民間機関は次の条件を満たすこと。

- ・ 会社更生法、民事再生法の対象者でないこと
- ・ 暴力団の構成員による不当な行為の防止等に関する法律による暴力団及び暴力団関係者との関係がないこと
- ・ これまでの官民マッチングにおいて協定等違反行為等をしていないこと。

2) 登録方法

(1) 民間機関

公共工事入札参加資格保有者は、資格取得時及び更新時に会社単位で登録申請書（様式1－1（P18））を官民マッチング運営事務局（以下、事務局という）に提出し承認を受けるものとする。

公共工事入札参加資格保有者以外は、官民マッチング対象工事ごとに登録申請書（様式1－1（P18））を事務局に提出し承認を受けるものとする。

(2) 事務局

事務局は、申請者が上記（1）に該当することを確認の上、参加の承認を行い、登録承認書（様式2－1（P22））を交付するものとする。

3. 2. 2 公共工事発注者

全ての公共工事発注者は官民マッチングシステムを利用できるものとする。

公共工事発注者のうち建設発生土情報交換システム加入機関は、官民マッチングシステム利用に際して登録手続きを不要とする。

公共工事発注者のうち建設発生土情報交換システムの未加入機関は、登録申請書（様式1－2（P20））を事務局に提出し登録承認書（様式2－2（P24））の交付を受けて利用するものとする。

3. 2. 3 官民マッチングシステム利用費用

官民マッチングシステムの利用費用は、民間工事受発注者、公共工事発注者とも当面の間、無料とする。

3. 3 官民マッチング対象工事の情報登録・変更方法

3. 3. 1 対象工事条件

対象工事条件は、運用マニュアル(案) P7に示すとおり、次の（1）から（3）とする。

(1) 工事規模

工事間利用を促進する観点から工事規模の制限は行わない。

(2) 仮置き場を利用する工事

仮置き場を経由する工事間利用については、建設発生土を適正に管理できる体制が整っている仮置き場を利用する場合に限って、官民双方の担当者が確認し、合意した場合に官民マッチングの対象とすることができる。

建設発生土を適正に管理できる体制とは、次をいう。

①工事発注者又は工事受注者（元請者又は下請者）自らで管理している。

②仮置き場に搬出入された建設発生土の土量を管理している。

③建設発生土を搬出工事ごとに堆積し、他工事の発生土と仕切りや空間の確保等により混ざらないように管理をしている。

(3) 建設発生土の搬入条件

建設発生土の搬入条件は次とする。

① 受け入れた建設発生土は、当該工事の施工のみに使用する。但し、公共工事ではこの限りでない。

②建設発生土は無料で受け入れるものとする。ただし、工事間利用協定等の取り決めにより、例えば、搬出工事側が搬入工事側の搬入土の敷均し等を負担することは可能とする。

3. 3. 2 情報登録の内容

対象工事の登録情報項目は表―1 のとおりとする。

表―1 官民マッチングシステム登録情報

NO	区分	情報項目	工事区分		情報項目の内容
			搬出	搬入	
1	工事情報	機関名称	○	○	
2		電話番号	○	○	
3		部課係名	○	○	
4		役職名	○	○	
5		担当者名	○	○	
6		E-mail アドレス	△	△	
7		工事名称	○	○	工事契約書等の工事名称を公表できない場合は仮称でも可とする。この場合は、工事契約書の写しを事務局に提出すること。(公共工事の入札参加資格保有者以外の民間機関は参加登録時に工事契約書の写しを提出するため、再度の提出は必要ない)
8	土量情報	施工場所住所コード	○	○	
9		施工場所	○	○	工事場所の代表地点の番地
10		仮置場有無	△	△	有、無、未定
11		搬出入区分	○	○	搬出、搬入
12		土量情報ランク	○	○	発注前、発注後
13		土量情報最終更新日時	○	○	土量情報最終更新日時(自動登録)
14		土工期(開始)	○	○	開始年月
15		土工期(終了)	○	○	終了年月
16		土量	○	○	m3
17		土質区分	○	○	第1種から4種、泥土、不明・未定
18		土質情報	△	△	関東ローム、マサ土等
19		土壌分析調査有無	○	△	有、調査中、無 搬入側が搬入側現場の原位置土において土壌分析調査が必要と判断した場合、「有」または「調査中」を入力する。
20	調整情報	利用用途	△	○	
21		利用調整申込期限(年月日)	○	○	公共工事の場合は公募期限
22		利用調整終了期限(年月日)	○	○	相手工事を決定する最終月日
23		特記情報	△	△	特記すべき情報があれば入力
24		添付PDF	△	△	土壌分析結果,その他証明書等の添付ファイル

注1；工事区分の○：必須項目

△：任意項目

－：該当しない項目

注2：網掛けの情報項目は、現行の公共工事土量調査結果の情報には含まれていないため、公共工事では情報登録できない。

3. 3. 3 情報登録・変更の方法

(1) 民間工事

民間工事の情報については、事務局から電子メール等により提供された民間工事土量情報提出表（MSエクセル形式（2000-2013 形式）：様式4（p 28））を用いて情報登録用ファイルを作成し、事務局（recycle@jacic.or.jp）に提出する。

登録した工事情報を変更する場合は、情報登録用ファイルを更新し事務局へ提出する。（P 10「工事土量更新手続き」参照）

(2) 公共工事

公共工事の情報については、建設発生土情報交換システムに登録されている公共工事土量調査結果の情報を活用するものとする。このため、公共工事発注者においては、官民マッチングにおいて新たな作業は発生しない。

3. 4 工事情報の公開・閲覧方法

3. 4. 1 事務局による公開方法

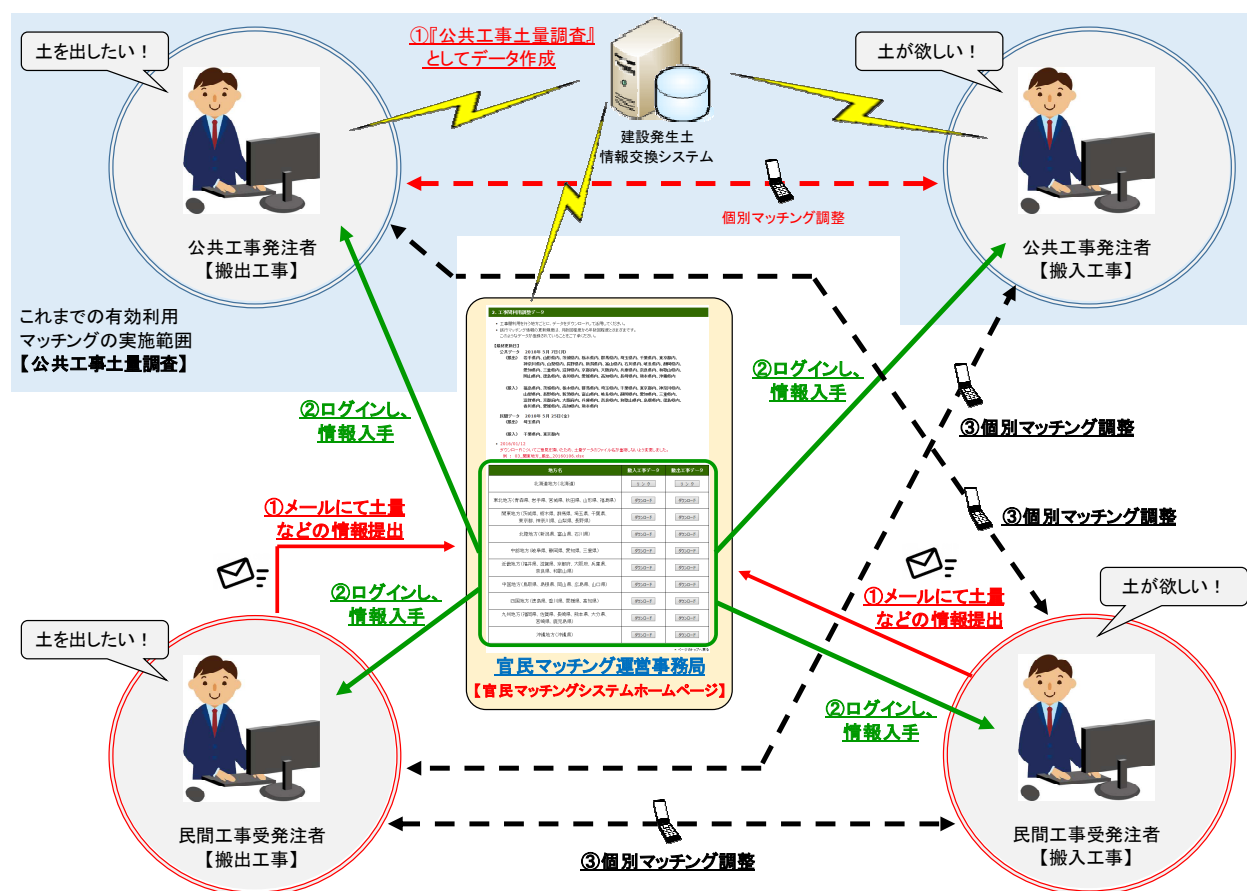
事務局は、3. 3により登録された工事情報を、地域ごと、都道府県ごとに区分してダウンロードファイル（MSエクセル形式（2000-2013 形式）：様式6（P 33））を民間工事については情報登録申請の都度、公共工事については1回／月の頻度で作成し、専用の『建設発生土の官民有効利用マッチングホームページ』上で公開・更新する。

3. 4. 2 工事情報の閲覧方法

民間工事受発注者および公共工事発注者は、『建設発生土の官民有効利用マッチングホームページ』にアクセスし、事務局から別途提供されるユーザーID、パスワードを用いて建設発生土の官民有効利用マッチングシステムホームページにログインして、公開された工事情報を閲覧する。

●建設発生土の官民有効利用マッチングシステムホームページURL：

<http://matching.recycle.jacic.or.jp>



図－１ 官民マッチングシステムを用いた情報登録・閲覧イメージ

【官民マッチングシステムホームページのイメージ】

建設発生土の官民有効利用マッチングシステムホームページ

建設発生土官民有効利用マッチング運営事務局
国土交通省総合政策局 公共事業企画調整課 インフラ情報・環境企画室
国土交通省大臣官房 公共事業調査室

トップページ

ログイン

システム利用登録

FAQ

お問い合わせ



官民マッチングへの登録申請書をダウンロードし、指定提出先にメールで登録を申し込みます。

システム利用登録

公共工事発注者様、民間工事受発注者様が当システムをご利用されるにあたって、まずお申し込みをしていただく必要があります。

登録申請書をダウンロードし、必要事項ご記入のうえ、下記申し込み先まで電子メールで送付してください。

また、民間機関（公共工事入札参加資格保有者）様につきましては**公共工事入札参加資格の写し**も一緒に送付してください。

民間機関（公共工事入札参加資格保有者以外）で工事発注者様につきましては『**開発許可または建築確認申請における許可証の写し**』を、工事受注者様につきましては『**建設業許可証の写し及び官民マッチング対象工事の工事契約書の写し**』も一緒に送付してください。

- 登録申請書（公共工事発注者）： 登録申請書（EXCEL形式） 申請記入例（PDF形式）
- 登録申請書（民間工事受発注者）： 登録申請書（EXCEL形式） 申請記入例（PDF形式）
- 申し込み先： recycle@jacic.or.jp

利用申し込みの流れについては下記をご覧ください。

公共工事発注者

公共工事発注者様のご利用登録方法は[こちら](#)

民間工事受発注者

民間工事受発注者様のご利用登録方法は[こちら](#)

▲ ページのトップへ戻る

工事土量新規登録手続き

民間工事受発注者様が工事土量情報を登録するには、民間工事土量情報提出表を送付する必要があります。
登録時にお配りした民間土量情報提出表に必要事項ご記入のうえ、下記申し込み先まで電子メールで送付してください。
受付締め切りは**毎週水曜日 18:00**とさせていただきます。

- **民間工事土量情報提出表** : 土量情報提出表(新規)記入例 (PDF形式)
- 申し込み先 : recycle@jacic.or.jp

工事土量情報を登録する際の対象工事条件は次のとおりとします。

(1) 工事規模

工事間利用を促進する観点から工事規模の制限は行わない。

(2) 仮置き場を利用する工事

仮置き場を経由する工事間利用については、下記①～③の建設

仮置き場を利用する場合に限って、官民双方の担当者が確認し、合意した場合に官民マッチングの対象とする。

①工事発注者又は工事受注者(元請者又は下請者)自らが管理している。

②仮置き場に搬出入された建設発生土の土量を管理している。

③建設発生土を搬出工事ごとに堆積し、他工事の発生土と仕切りや空間の確保等により混ざらないように管理をしている。

(3) 建設発生土の搬入条件

建設発生土の搬入条件は次とする。

①受け入れた建設発生土は、当該工事の施工のみに使用する。

②建設発生土は無料で受け入れるものとする。ただし、工事間利用協定等の取り決めにより、例えば、搬出工事側が搬入工事側の搬入土の数均し等を負担することは可能とする。

土量情報提出表(新規)をダウンロードし、指定提出先にメールで登録を申し込みます。

工事土量情報登録の流れについては下記をご覧ください。

民間工事受発注者

民間工事土量情報の新規登録方法は[こちら](#)

[▲ ページのトップへ戻る](#)

工事土量更新手続き

民間工事受発注者様が工事土量情報を登録するには、民間工事土量情報提出表を送付する必要があります。
工事土量情報登録時、もしくは、工事土量更新時に返信した民間工事土量情報提出表に更新内容ご記入のうえ、下記申し込み先まで電子メールで送付してください。受付締め切りは**毎週水曜日 18:00**とさせていただきます。

- **民間工事土量情報提出表** : 土量情報提出表(更新)記入例 (PDF形式)
- 申し込み先 : recycle@jacic.or.jp

工事土量情報更新の流れについては下記をご覧ください。

民間工事受発注者

民間工事土量情報の更新方法は[こちら](#)

土量情報提出表(更新)をダウンロードし、指定提出先にメールで登録を申し込みます。

建設発生土の官民有効利用マッチングシステムホームページ

建設発生土官民有効利用マッチング運営事務局
国土交通省総合政策局 公共事業企画調整課 インフラ情報・環境企画室
国土交通省大臣官房 公共事業調査室

[トップページ](#)

[ログイン](#)

[システム利用登録](#)

[FAQ](#)

[お問い合わせ](#)

1. 土量データ提供のお願い

次のような発生土量がある方は事務局まで下記の通りご提出ください。

1. 他の工事(公共工事または民間工事)に建設発生土を搬出したい。
2. 他の工事(公共工事または民間工事)の建設発生土を利用したい。

2. 工事間利用調整データ

- ・ 工事間利用を行う地方ごとに、データをダウンロードして活用してください。
- ・ 官民マッチング情報の更新頻度は、月数回程度から年数回程度とさまざまです。
このようなデータが登録されていることをご了承ください。

【最終更新日】

公共データ 2018年 6月 4日(月)

(搬出) 岩手県内、栃木県内、群馬県内、埼玉県内、千葉県内、東京都内、山梨県内、長野県内、新潟県内、富山県内、岐阜県内、静岡県内、愛知県内、三重県内、福井県内、滋賀県内、京都府内、大阪府内、兵庫県内、奈良県内、和歌山県内、岡山県内、広島県内、徳島県内、香川県内、愛媛県内、高知県内、熊本県内、宮崎県内

(搬入) 福島県内、栃木県内、群馬県内、埼玉県内、千葉県内、東京都内、神奈川県内、山梨県内、長野県内、新潟県内、富山県内、石川県内、岐阜県内、愛知県内、三重県内、滋賀県内、京都府内、大阪府内、兵庫県内、奈良県内、和歌山県内、鳥根県内、岡山県内、徳島県内、香川県内、愛媛県内、高知県内、熊本

民間データ 2018年 6月 18日(月)

(搬入) 茨城県内

- ・ 2016/01/12

ダウンロードについてご意見を頂いたため、土量データのファイル名が重複しないよう変更しました。

例 : 03_関東地方_搬出_20160106.xlsx

土量情報に関するデータ（搬入工事データ、搬出工事データ）をダウンロードし、マッチング調整相手を検索します。（様式6（P33））

地方名	搬入工事データ	搬出工事データ
北海道地方(北海道)	リンク	リンク
東北地方(青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県)	ダウンロード	ダウンロード
関東地方(茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県)	ダウンロード	ダウンロード
北陸地方(新潟県、富山県、石川県)	ダウンロード	ダウンロード
中部地方(岐阜県、静岡県、愛知県、三重県)	ダウンロード	ダウンロード
近畿地方(福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県)	ダウンロード	ダウンロード
中国地方(鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県)	ダウンロード	ダウンロード
四国地方(徳島県、香川県、愛媛県、高知県)	ダウンロード	ダウンロード
九州地方(福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県)	ダウンロード	ダウンロード
沖縄地方(沖縄県)	ダウンロード	ダウンロード

▲ ページのトップへ戻る

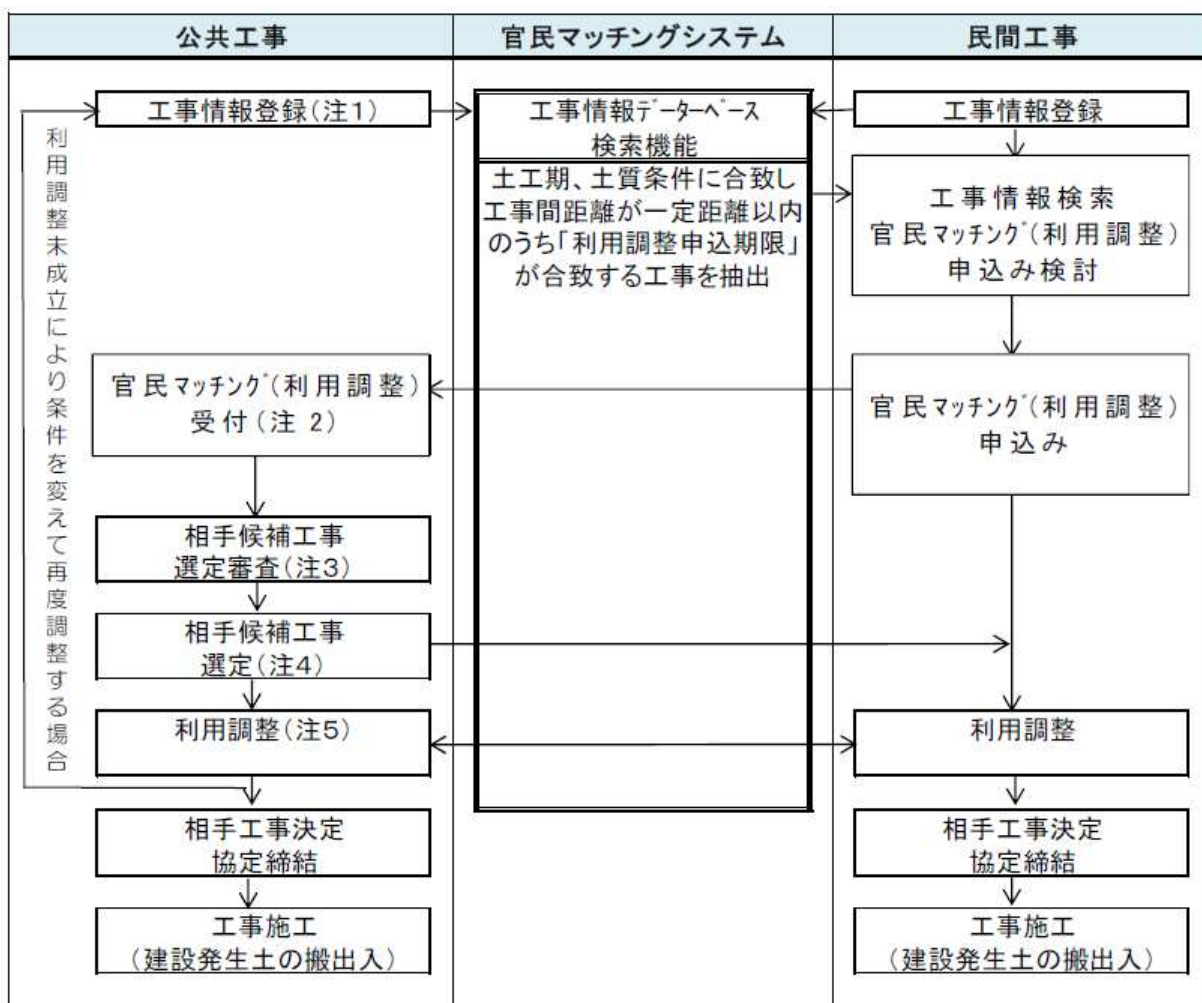
3. 5 官民マッチング調整方法

公平性、透明性を確保する観点から、公共工事の工事間利用の相手工事となる民間工事については、「公募」方式により選定する方法がある。

官民マッチングシステムは、「公募」に準じる民間工事を選定する方式であり、公共工事においては、図－2により「公募」方式によらずとも工事間利用の相手候補（マッチング候補）となる民間工事を選定することができる。

詳細は、運用マニュアル(案)P 1 4を参照のこと。

図－2 官民マッチングにおける民間工事（利用調整相手候補工事）の選定方法



注1, 2, 3, 4, 5は、運用マニュアル(案)P 1 5参照

なお、当面、官民マッチングシステムでは「検索機能」を提供していないため、工事情報の閲覧により、マッチング可能性のある工事を抽出することとする。

(「検索機能」の提供時期は、未定)

3. 6 官民マッチング調整結果の登録方法

3. 6. 1 情報登録の内容

公共工事発注者、民間工事受発注者は、官民マッチングの実現、実現せずにかかわらず、調整結果の登録を行う。

官民マッチング調整結果の登録内容は、次の事項とする。

1) 工事間利用の有無（工事間利用実現、工事間利用実現せず）

※工事間利用が実現しなかった場合は、その理由を記載。

2) 最終的な搬出先・搬入元

最終的な搬出先・搬入元を記載。

【搬出工事からの搬出先】

- ・他の工事現場
- ・現場内利用
- ・土質改良プラント
- ・建設発生土ストックヤード
- ・海面処分場
- ・民間内陸受入地
- ・公共内陸受入地

【利用工事における搬入元】

- ・他の工事現場
- ・現場内利用
- ・土質改良プラント
- ・建設発生土ストックヤード
- ・建設汚泥中間処理施設（建設汚泥処理土利用）
- ・新材利用

※搬出工事からの搬出先、利用工事における搬入元についてはその施設名称、所在地もあわせて登録。

※官民マッチング調整が実現した事案についてはその調整状況等について個別調査を実施。

3. 6. 2 情報登録の方法

官民マッチング調整結果情報については、事務局から提供される、マッチング調査結果情報提出表（MSエクセル形式（2000-2013形式）：様式5（P 3 1））を用いて情報を入力し、事務局（recycle@jacic.or.jp）に提出する。

4. その他

- すべての関係者は、官民マッチングにおいて得られた情報を目的外に使用してはならない。
- 官民マッチングが実現し協定書等の締結後は、速やかに協定書等の写し及びマッチング調査結果情報提出表（MSエクセル形式（2000-2013 形式）：様式5の提出、工事終了後には、結果の報告を官民マッチング支援等問合せ先に提出することとする。
- 官民マッチングにおいて著しい虚偽の記載、事務局への未報告等他の参加者に混乱をもたらす行為等を行った不適切な参加者に対し、事務局がその参加承認を取り消すことができる。
- 一部の地方自治体においては、当該自治体が発注する建設工事の建設発生土の搬出先について、各種法令の開発許可等が得られているかを確認するなど、搬出先としての事前登録を求めている機関があることに留意することが必要である。
- 官民マッチングは、公共工事発注者、民間工事受発注者双方の責任において実施するものであり、官民マッチング事務局は一切の責任を負わない。

5. 官民マッチングにおける問合せ先

＜官民マッチングシステム登録等の問合せ先＞

一般財団法人日本建設情報総合センター 建設副産物情報センター

TEL：03-3505-0416 FAX：03-3505-0520

AM 9：30～PM 5：30（土・日・祝を除く）

＜官民マッチングシステム支援等の問合せ先＞

一般財団法人先端建設技術センター

TEL：03-3942-3991 FAX：03-3942-0424

AM 9：30～PM 5：30（土・日・祝を除く）

＜官民マッチングシステム運営事務局＞

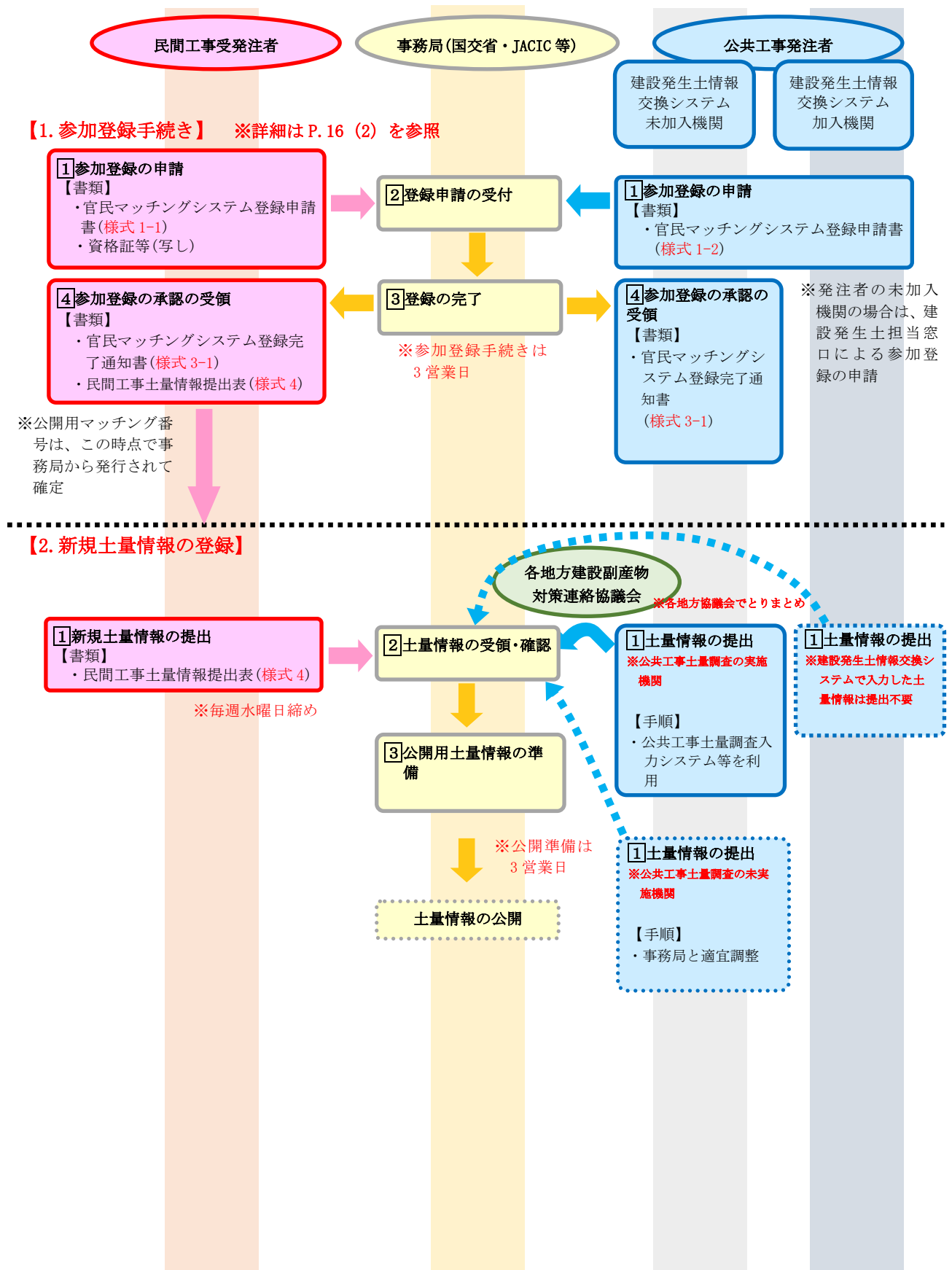
国土交通省総合政策局 公共事業企画調整課 インフラ情報・環境企画室

TEL：03-5253-8111 FAX：03-5253-1551

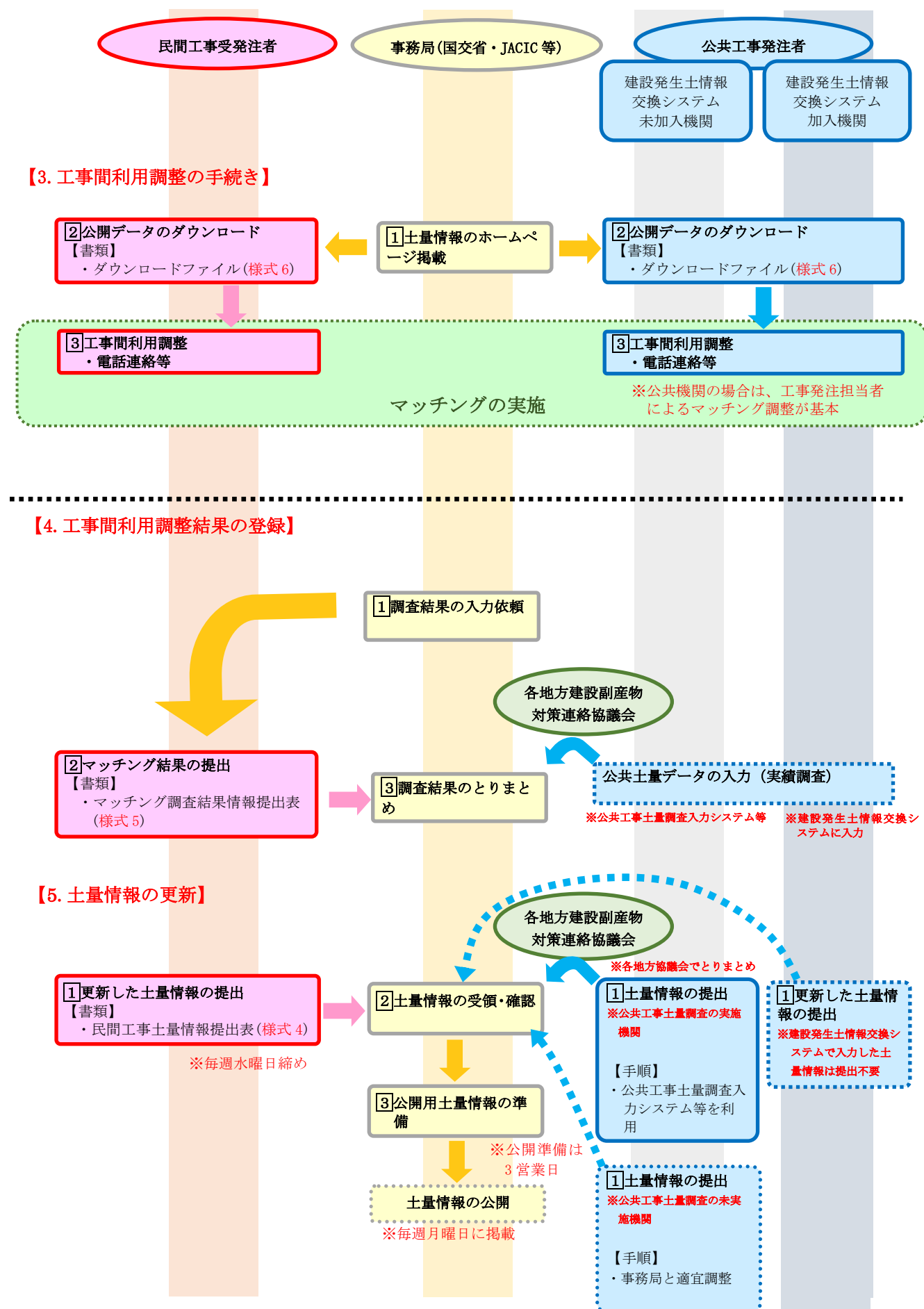
AM 9：30～PM 5：30（土・日・祝を除く）

【資料編：建設発生土の官民有効利用マッチングシステムの運用の流れ】

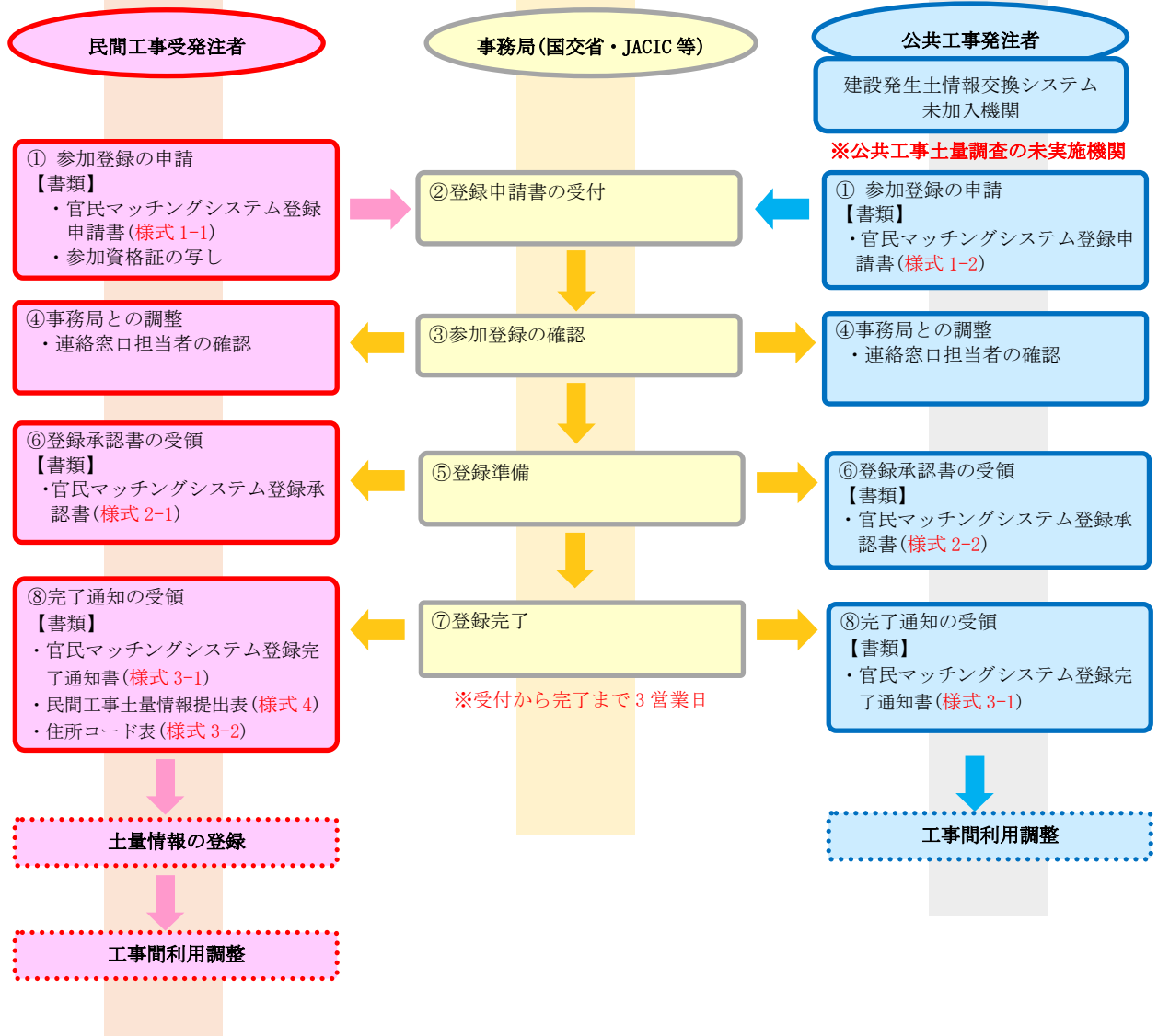
(1) 全体の流れ



続き（全体の流れ）



(2) 【1. 参加登録手続き】の詳細



《様式１－１》官民マッチングシステム登録申請書

建設発生土官民有効利用マッチング事務局 御中

建設発生土官民有効利用マッチングシステム 登録申請書

申込日 令和 年 月 日

私は、「建設発生土の官民有効利用マッチング運用マニュアル（案）」及び「建設発生土の官民有効利用マッチングシステム利用手引（案）」に同意し、下記の通り申し込みます。

フリガナ			
法人名称又は 屋 号			
フリガナ			
住 所	〒 -		
フリガナ			
担当者名			
部 署 名		役 職 名	
電 話 番 号		F A X	
電 子 メ ー ル			

参加資格	☐ 1) 公共工事入札参加資格保有者 ☐ 2) 開発許可等取得者、建築確認申請取得者 ☐ 3) 建設業許可業者
------	--

必要事項ご記入のうえ、『参加資格の写し』と一緒に recycle@jacic.or.jp まで提出してください。

記入例

建設発生土官民有効利用マッチング事務局 御中

建設発生土官民有効利用マッチングシステム 登録申請書

申込日 令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

私は、「建設発生土の官民有効利用マッチング運用マニュアル（案）」及び「建設発生土の官民有効利用マッチングシステム利用手引（案）」に同意し、下記の通り申し込みます。

フリガナ	マルマルケンセツ		
法人名称又は 屋号	株式会社 ○○建設		
フリガナ	トウキョウトチヨダク		
住所	〒 ○○○ - ○○○○ 東京都千代田区○○○ ○-○-○		
フリガナ	ケンセツ タロウ		
担当者名	建設 太郎		
部署名	土木部○○課	役職名	係長
電話番号	03-○○○○-○○○○	F A X	03-○○○○-○○○○
電子メール	×××@×××.××.jp		

参加資格	☒ 1) 公共工事入札参加資格保有者 ☐ 2) 開発許可等取得者、建築確認申請取得者 ☐ 3) 建設業許可業者
------	---

必要事項ご記入のうえ、『参加資格の写し』と一緒に recycle@jacic.or.jp まで提出してください。

《様式１－２》官民マッチングシステム登録申請書（建設発生土情報交換システム未加入機関）

建設発生土官民有効利用マッチング事務局 御中

建設発生土官民有効利用マッチングシステム 登録申請書

申込日 令和 年 月 日

私は、「建設発生土の官民有効利用マッチング運用マニュアル（案）」及び「建設発生土の官民有効利用マッチングシステム利用手引（案）」に同意し、下記の通り申し込みます。

フリガナ			
貴機関名称			
フリガナ			
住所	〒 -		
フリガナ			
担当者名			
部署名		役職名	
電話番号		F A X	
電子メール			

必要事項ご記入のうえ、recycle@jacic.or.jp まで提出してください。

記入例

建設発生土官民有効利用マッチング事務局 御中

建設発生土官民有効利用マッチングシステム 登録申請書

申込日 令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

私は、「建設発生土の官民有効利用マッチング運用マニュアル（案）」及び「建設発生土の官民有効利用マッチングシステム利用手引（案）」に同意し、下記の通り申し込みます。

フリガナ	マルマルシ		
貴機関名称	〇〇市		
フリガナ	マルマルケンマルマルシマルマルチョウ		
住所	〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町 〇-〇-〇		
フリガナ	フクサンプツ タロウ		
担当者名	副産物 太郎		
部署名	土木部〇〇課	役職名	係長
電話番号	03-〇〇〇〇-〇〇〇〇	F A X	03-〇〇〇〇-〇〇〇〇
電子メール	×××@×××.××.jp		

必要事項ご記入のうえ、recycle@jacic.or.jp まで提出してください。

《様式2-1》官民マッチングシステム登録承認書

建設発生土官民有効利用マッチングシステム 登録承認書

登録日 令和 年 月 日

下記について、「建設発生土官民有効利用マッチング」への参加を承認します。

フリガナ	
法人名称又は 屋 号	
フリガナ	
担当者名	

下記の書類は、後日、メールにてご連絡いたします。

- 登録完了通知書（ユーザーID・パスワード通知）
- 住所コード表
- 民間工事土量情報提出表

建設発生土官民有効利用マッチング事務局
国土交通省総合政策局公共事業企画調整課 インフラ情報・環境企画室
一般財団法人 日本建設情報総合センター 建設副産物情報センター

記入例

建設発生土官民有効利用マッチングシステム 登録承認書

登録日 令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

下記について、「建設発生土官民有効利用マッチング」への参加を承認します。

フリガナ	マルマルケンセツ
法人名称又は 屋号	株式会社 ○○建設
フリガナ	ケンセツ タロウ
担当者名	建設 太郎

下記の書類は、後日、メールにてご連絡いたします。

- 登録完了通知書（ユーザーID・パスワード通知）
- 住所コード表
- 民間工事土量情報提出表

建設発生土官民有効利用マッチング事務局
国土交通省総合政策局公共事業企画調整課 インフラ情報・環境企画室
一般財団法人 日本建設情報総合センター 建設副産物情報センター

《様式２－２》官民マッチングシステム登録承認書（建設発生土情報交換システム未加入機関）

建設発生土官民有効利用マッチングシステム 登録承認書

登録日 令和 年 月 日

下記について、「建設発生土官民有効利用マッチング」への参加を承認します。

フリガナ	
貴機関名称	
フリガナ	
担当者名	

下記の書類は、後日、メールにてご連絡いたします。

■ 登録完了通知書 （ユーザーID・パスワード通知）

建設発生土官民有効利用マッチング事務局
国土交通省総合政策局公共事業企画調整課 インフラ情報・環境企画室
一般財団法人 日本建設情報総合センター 建設副産物情報センター

記入例

建設発生土官民有効利用マッチングシステム 登録承認書

登録日 令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

下記について、「建設発生土官民有効利用マッチング」への参加を承認します。

フリガナ	マルマルシ
貴機関名称	〇〇市
フリガナ	フクサンプツ タロウ
担当者名	副産物 太郎

下記の書類は、後日、メールにてご連絡いたします。

■ 登録完了通知書 (ユーザーID・パスワード通知)

建設発生土官民有効利用マッチング事務局
国土交通省総合政策局公共事業企画調整課 インフラ情報・環境企画室
一般財団法人 日本建設情報総合センター 建設副産物情報センター

《様式３－１》官民マッチングシステム登録完了通知書

建設発生土官民有効利用マッチングシステム

ユーザー登録完了のお知らせ

平素は格別のご厚誼にあずかり、厚く御礼申し上げます。

さて、当センターで運営しております『建設発生土官民有効利用マッチングシステム』について、以下の「ユーザーID・パスワード」を使用してシステムのご利用くださいますようお願い申し上げます。

ユーザーID : HDZZZ0ID1

初期パスワード : PWTEST01

▼ユーザーID、初期パスワードは英字は半角大文字、数字は半角文字で入力してください。

【 ご注意 】

ユーザーIDエラーになる場合、以下をご確認ください。

0,1 (数字) O,l (アルファベット)

- 本書類の取り扱いには、十分ご注意くださいようお願い申し上げます。

建設発生土官民有効利用マッチング事務局
国土交通省総合政策局公共事業企画調整課 インフラ情報・環境企画室
一般財団法人 日本建設情報総合センター 建設副産物情報センター

《様式３－２》建設発生土官民有効利用マッチングシステム住所コード表

建設発生土官民有効利用マッチングシステム
住所コード表

東京都

コード	市区町村
13101	千代田区
13102	中央区
13103	港区
13104	新宿区
13105	文京区
13106	台東区
13107	墨田区
13108	江東区
13109	品川区
13110	目黒区
13111	大田区
13112	世田谷区
13113	渋谷区
13114	中野区
13115	杉並区
13116	豊島区
13117	北区
13118	荒川区
13119	板橋区
13120	練馬区
13121	足立区
13122	葛飾区
13123	江戸川区
13201	八王子市
13202	立川市
13203	武蔵野市
13204	三鷹市
13205	青梅市
13206	府中市
13207	昭島市
13208	調布市
13209	町田市
13210	小金井市
13211	小平市
13212	日野市
13213	東村山市
13214	国分寺市
13215	国立市
13218	福生市
13219	狛江市
13220	東大和市

コード	市区町村
13221	清瀬市
13222	東久留米市
13223	武蔵村山市
13224	多摩市
13225	稲城市
13227	羽村市
13228	あきる野市
13229	西東京市
13303	西多摩郡瑞穂町
13305	西多摩郡日の出町
13307	西多摩郡檜原村
13308	西多摩郡奥多摩町
13361	大島町
13362	利島村
13363	新島村
13364	神津島村
13381	三宅村
13382	御蔵島村
13401	八丈町
13402	青ヶ島村
13421	小笠原村

建設発生土官民有効利用マッチング事務局
国土交通省総合政策局公共事業企画調整課 インフラ情報・環境企画室
一般財団法人 日本建設情報総合センター 建設副産物情報センター

《様式4》民間工事土量情報提出表

民間工事土量情報提出表

マッチング番号	業者コード	業者名	住所コード	施工場所	土量状況	搬出入区分	情報ランク	土工期(年月)		土質区分	土量(m3)	電話番号	部課係名	役職名
								開始	終了					
記入例	001	〇〇建設株式会社	13104	東京都新宿区	新規	搬出	計画数量の情報	2018年07月	2018年10月	第3種建設発生土	1,300	03-XXXX-XXXX	工事部	主任
記入例	001	〇〇建設株式会社	13104	東京都新宿区	新規	搬入	工事発注が済んだ時の情報	2018年08月	2018年12月	第2種建設発生土	700	03-XXXX-XXXX	東京支店	副所長
00100101	001	〇〇建設株式会社	「コード表」を入力してください。	施工場所を入力してください。	リストから選択してください。 〔選択項目〕 ・新規 ・更新 ・削除 ・完了 ※土量の状況を新規、更新、削除、完了から選択してください。	リストから選択してください。 〔選択項目〕 ・搬出 ・搬入	リストから選択してください。 〔選択項目〕 ・想定数量の情報 ・計画数量の情報 ・工事発注が住んだ時の情報	土工期を年月(西暦)6桁「yyyymm」で入力してください。	リストから選択してください。 〔選択項目〕 ・第1種建設発生土 ・第2種建設発生土 ・第3種建設発生土 ・第4種建設発生土 ・泥土(建設汚泥を含まない) ・建設汚泥 ・不明・未定	土量を入力してください。	電話番号を「-」(半角)ありで入力してください。	部署等を入力してください。	役職名を入力してください。	
00100102	001	〇〇建設株式会社												
00100103	001	〇〇建設株式会社												
00100104	001	〇〇建設株式会社												
00100105	001	〇〇建設株式会社												
00100106	001	〇〇建設株式会社												
00100107	001	〇〇建設株式会社												
00100108	001	〇〇建設株式会社												

担当者名	E-mailアドレス	工事名称	仮置場有無	土量情報最終更新日時	土質情報	土壌分析調査有無	搬入(利用)用途	利用調整(年月日)		特記事項	添付PDF																																																																																															
								申込期限	終了期限																																																																																																	
建設太郎	xxxxx01@xxx.co.jp	平成30年度〇〇掘削工事	有	2018/06/25 14:00	関東ローム	有		2018年08月17日	2018年08月31日	大型ダンプ利用可能	土壌分析試験結果																																																																																															
副産物花子	xxxxx02@xxx.co.jp	平成30年度〇〇造成工事	未定	2018/06/26 17:00		調査中	土地造成(宅地造成)	2018年07月20日	2018年07月31日																																																																																																	
担当者名を入力してください。	E-mail アドレスを入力してください。 (任意事項)	工事名称を入力してください。	リストから選択してください。 (任意項目) 〔選択項目〕 ・有 ・無	土量情報最終更新日時を入力してください。	土質情報(関東ローム、マサ土等)を入力してください。 (任意項目)	リストから選択してください。 (任意項目) 〔選択項目〕 ・有 ・調査中 ・無	搬入土の利用用途を入力してください。	利用調整申込期限を入力してください。 公共工事で公募を行う場合は公募期限を入力してください。	相手工事を決定する最終月日を入力してください。	特記事項を入力してください。 (任意項目)	土壌分析結果、その他証明書等を添付してください。 (任意項目)																																																																																															
[土質区分基準]																																																																																																										
<table><tr><th rowspan="2">区分 (国土交通省令)</th><th rowspan="2">細区分</th><th rowspan="2">コーン 指数 qc kN/m²</th><th colspan="2">土質材料の工学的分類</th><th colspan="2">備考</th></tr><tr><th>大分類</th><th>中分類 土質記号</th><th>含水比 (地山) Wt(%)</th><th>掘削 方法</th></tr><tr><td rowspan="4">第1種建設発生土 (砂、礫及びこれらに準ずるもの)</td><td>第1種</td><td rowspan="4">800 以上</td><td>礫質土</td><td>礫[G]、砂礫[GS]</td><td>-</td><td rowspan="8">※排水に考慮するが、降水、浸出地下水等により含水比が増加すると予想される場合は、1ランク下の区分とする。</td></tr><tr><td>第1種改良土</td><td>人工材料</td><td>改良土[G]</td><td>-</td></tr><tr><td>第2種建設発生土 (砂質土、礫質土及びこれらに準ずるもの)</td><td>第2a種</td><td>礫質土</td><td>細粒分まじり礫[GF]</td><td>-</td></tr><tr><td>第2b種</td><td>砂質土</td><td>細粒分まじり砂[SF]</td><td>-</td></tr><tr><td rowspan="4">第3種建設発生土 (通常の施工性が確保される粘性土及びこれに準ずるもの)</td><td>第3a種</td><td rowspan="4">400 以上</td><td>人工材料</td><td>改良土[G]</td><td>-</td><td rowspan="8">※水中掘削等による場合は、2ランク下の区分とする。</td></tr><tr><td>第3b種</td><td>砂質土</td><td>細粒分まじり砂[SF]</td><td>-</td></tr><tr><td rowspan="2">第3種改良土</td><td>粘性土</td><td>シルト[M]、粘土[C]</td><td>40%程度以下</td></tr><tr><td>火山灰質粘性土</td><td>火山灰質粘性土[V]</td><td>-</td></tr><tr><td rowspan="4">第4種建設発生土 (粘性土及びこれに準ずるもの(第3種建設発生土を除く))</td><td>第4a種</td><td rowspan="4">200 以上</td><td>人工材料</td><td>改良土[G]</td><td>-</td><td rowspan="8">※水中掘削等による場合は、2ランク下の区分とする。</td></tr><tr><td rowspan="2">第4b種</td><td>砂質土</td><td>細粒分まじり砂[SF]</td><td>-</td></tr><tr><td>粘性土</td><td>シルト[M]、粘土[C]</td><td>40～80%程度</td></tr><tr><td rowspan="4">泥土</td><td rowspan="2">第4種改良土</td><td>火山灰質粘性土</td><td>火山灰質粘性土[V]</td><td>-</td></tr><tr><td>有機質土</td><td>有機質土[O]</td><td>40～80%程度</td></tr><tr><td rowspan="2">泥土a</td><td>人工材料</td><td>改良土[G]</td><td>-</td></tr><tr><td rowspan="2">泥土b</td><td>砂質土</td><td>細粒分まじり砂[SF]</td><td>-</td></tr><tr><td rowspan="2">泥土c</td><td>粘性土</td><td>シルト[M]、粘土[C]</td><td>80%程度以上</td></tr><tr><td rowspan="2"></td><td>火山灰質粘性土</td><td>火山灰質粘性土[V]</td><td>-</td></tr><tr><td rowspan="2"></td><td>有機質土</td><td>有機質土[O]</td><td>80%程度以上</td></tr><tr><td rowspan="2"></td><td>高有機質土</td><td>高有機質土[P]</td><td>-</td></tr></table>												区分 (国土交通省令)	細区分	コーン 指数 qc kN/m ²	土質材料の工学的分類		備考		大分類	中分類 土質記号	含水比 (地山) Wt(%)	掘削 方法	第1種建設発生土 (砂、礫及びこれらに準ずるもの)	第1種	800 以上	礫質土	礫[G]、砂礫[GS]	-	※排水に考慮するが、降水、浸出地下水等により含水比が増加すると予想される場合は、1ランク下の区分とする。	第1種改良土	人工材料	改良土[G]	-	第2種建設発生土 (砂質土、礫質土及びこれらに準ずるもの)	第2a種	礫質土	細粒分まじり礫[GF]	-	第2b種	砂質土	細粒分まじり砂[SF]	-	第3種建設発生土 (通常の施工性が確保される粘性土及びこれに準ずるもの)	第3a種	400 以上	人工材料	改良土[G]	-	※水中掘削等による場合は、2ランク下の区分とする。	第3b種	砂質土	細粒分まじり砂[SF]	-	第3種改良土	粘性土	シルト[M]、粘土[C]	40%程度以下	火山灰質粘性土	火山灰質粘性土[V]	-	第4種建設発生土 (粘性土及びこれに準ずるもの(第3種建設発生土を除く))	第4a種	200 以上	人工材料	改良土[G]	-	※水中掘削等による場合は、2ランク下の区分とする。	第4b種	砂質土	細粒分まじり砂[SF]	-	粘性土	シルト[M]、粘土[C]	40～80%程度	泥土	第4種改良土	火山灰質粘性土	火山灰質粘性土[V]	-	有機質土	有機質土[O]	40～80%程度	泥土a	人工材料	改良土[G]	-	泥土b	砂質土	細粒分まじり砂[SF]	-	泥土c	粘性土	シルト[M]、粘土[C]	80%程度以上		火山灰質粘性土	火山灰質粘性土[V]	-		有機質土	有機質土[O]	80%程度以上		高有機質土	高有機質土[P]	-
区分 (国土交通省令)	細区分	コーン 指数 qc kN/m ²	土質材料の工学的分類		備考																																																																																																					
			大分類	中分類 土質記号	含水比 (地山) Wt(%)	掘削 方法																																																																																																				
第1種建設発生土 (砂、礫及びこれらに準ずるもの)	第1種	800 以上	礫質土	礫[G]、砂礫[GS]	-	※排水に考慮するが、降水、浸出地下水等により含水比が増加すると予想される場合は、1ランク下の区分とする。																																																																																																				
	第1種改良土		人工材料	改良土[G]	-																																																																																																					
	第2種建設発生土 (砂質土、礫質土及びこれらに準ずるもの)		第2a種	礫質土	細粒分まじり礫[GF]		-																																																																																																			
	第2b種		砂質土	細粒分まじり砂[SF]	-																																																																																																					
第3種建設発生土 (通常の施工性が確保される粘性土及びこれに準ずるもの)	第3a種	400 以上	人工材料	改良土[G]	-		※水中掘削等による場合は、2ランク下の区分とする。																																																																																																			
	第3b種		砂質土	細粒分まじり砂[SF]	-																																																																																																					
	第3種改良土		粘性土	シルト[M]、粘土[C]	40%程度以下																																																																																																					
			火山灰質粘性土	火山灰質粘性土[V]	-																																																																																																					
第4種建設発生土 (粘性土及びこれに準ずるもの(第3種建設発生土を除く))	第4a種	200 以上	人工材料	改良土[G]	-	※水中掘削等による場合は、2ランク下の区分とする。																																																																																																				
	第4b種		砂質土	細粒分まじり砂[SF]	-																																																																																																					
			粘性土	シルト[M]、粘土[C]	40～80%程度																																																																																																					
	泥土		第4種改良土	火山灰質粘性土	火山灰質粘性土[V]			-																																																																																																		
有機質土		有機質土[O]		40～80%程度																																																																																																						
泥土a		人工材料	改良土[G]	-																																																																																																						
		泥土b	砂質土	細粒分まじり砂[SF]	-																																																																																																					
泥土c	粘性土		シルト[M]、粘土[C]	80%程度以上																																																																																																						
		火山灰質粘性土	火山灰質粘性土[V]	-																																																																																																						
		有機質土	有機質土[O]	80%程度以上																																																																																																						
		高有機質土	高有機質土[P]	-																																																																																																						

記入例

【土量情報の新規登録の場合】

民間工事土量情報提出表

マッチング番号	業者コード	業者名	住所コード	施工場所	土量状況	搬出入区分	情報ランク	土工期(年月)		土質区分	土量 (m3)	電話番号	部課係名	役職名
								開始	終了					
00100101	001	〇〇建設株式会社	13101	東京都千代田区	新規	搬出	工事発注が済んだ時の情報	2018年07月	2018年10月	第2種建設発生土	1,500	03-XXXX-XXXX	土木部	課長
マッチング番号	業者コード	業者名	住所コード	施工場所	土量状況	搬出入区分	情報ランク	土工期(年月)		土質区分	土量 (m3)	電話番号	部課係名	役職名
00100201	001	〇〇建設株式会社	13104	東京都新宿区	新規	搬入	工事発注が済んだ時の情報	2018年08月	2018年12月					
マッチング番号	業者コード	業者名	住所コード	施工場所	土量状況	搬出入区分	情報ランク	土工期(年月)		土質区分	土量 (m3)	電話番号	部課係名	役職名
00100301	001	〇〇建設株式会社	13102	東京都中央区	新規	搬出	工事発注が済んだ時の情報	2018年08月	2018年10月					
00100302	001	〇〇建設株式会社	13102	東京都中央区	新規	搬入	工事発注が済んだ時の情報	2018年11月	2018年12月	第2種建設発生土	1,600	03-XXXX-XXXX	土木部	課長
マッチング番号	業者コード	業者名	住所コード	施工場所	土量状況	搬出入区分	情報ランク	土工期(年月)		土質区分	土量 (m3)	電話番号	部課係名	役職名
00100401	001	〇〇建設株式会社	13103	東京都港区	新規	搬出	計画数量の情報	2018年08月	2018年10月					
00100402	001	〇〇建設株式会社	13103	東京都港区	新規	搬出	計画数量の情報	2018年11月	2018年12月	第3種建設発生土	1,300	03-XXXX-XXXX	土木部	課長
マッチング番号	業者コード	業者名	住所コード	施工場所	土量状況	搬出入区分	情報ランク	土工期(年月)		土質区分	土量 (m3)	電話番号	部課係名	役職名
00100501	001	〇〇建設株式会社	13113	東京都渋谷区	新規	搬入	計画数量の情報	2018年08月	2018年10月					
00100502	001	〇〇建設株式会社	13113	東京都渋谷区	新規	搬入	計画数量の情報	2018年11月	2018年12月	第2種建設発生土	1,300	03-XXXX-XXXX	土木部	課長

- 事務局が発行、入力しますので、修正はしないでください。
- 土量情報の追加が必要な場合は、事務局まで連絡をください。

担当者名	E-mailアドレス	工事名称	仮置場有無	土量情報 最終更新日時	土質情報	土壌分析 調査有無	搬入(利用)用途	利用調整(年月日)		特記事項	添付PDF
								申込期限	終了期限		
発生土太郎	xxxxx01@xxx.co.jp	平成30年度〇〇掘削工事	有	2018/06/25 14:00	関東ローム	有		2018年08月17日	2018年08月31日	大型ダンプ利用可能	土壌分析試験結果
担当者名	E-mailアドレス	工事名称	仮置場有無	土量情報 最終更新日時	土質情報	土壌分析 調査有無	搬入(利用)用途	利用調整(年月日)		特記事項	添付PDF
発生土太郎	xxxxx01@xxx.co.jp	平成30年度〇〇造成工事	無	2018/07/26 17:00			土地造成(宅地造成)	2018年08月10日	2018年08月31日		
担当者名	E-mailアドレス	工事名称	仮置場有無	土量情報 最終更新日時	土質情報	土壌分析 調査有無	搬入(利用)用途	利用調整(年月日)		特記事項	添付PDF
発生土太郎	xxxxx01@xxx.co.jp	平成30年度〇〇掘削工事	未定	2018/07/26 17:00	関東ローム	調査中		2018年08月20日	2018年08月31日		
発生土太郎	xxxxx01@xxx.co.jp	平成30年度〇〇造成工事	未定	2018/10/26 17:00			土地造成(宅地造成)	2018年11月10日	2018年11月30日		
担当者名	E-mailアドレス	工事名称	仮置場有無	土量情報 最終更新日時	土質情報	土壌分析 調査有無	搬入(利用)用途	利用調整(年月日)		特記事項	添付PDF
発生土次郎	xxxxx02@xxx.co.jp	平成30年度〇〇掘削工事	未定	2018/07/26 17:00	マサ土	調査中		2018年08月10日	2018年08月31日		
発生土次郎	xxxxx02@xxx.co.jp	平成30年度△△掘削工事	未定	2018/10/26 17:00		無		2018年11月10日	2018年11月30日		
担当者名	E-mailアドレス	工事名称	仮置場有無	土量情報 最終更新日時	土質情報	土壌分析 調査有無	搬入(利用)用途	利用調整(年月日)		特記事項	添付PDF
発生土次郎	xxxxx02@xxx.co.jp	平成30年度〇〇造成工事	未定	2018/07/26 17:00			土地造成(宅地造成)	2018年08月10日	2018年08月31日		
発生土次郎	xxxxx02@xxx.co.jp	平成30年度△△造成工事	未定	2018/10/26 17:00			土地造成(宅地造成)	2018年11月10日	2018年11月30日		

記入例

【土量情報の更新登録の場合】

民間工事土量情報提出表

マッチング番号	業者コード	業者名	住所コード	施工場所	土量状況	搬出入区分	情報ランク	土工期(年月)		土質区分	土量 (m3)	電話番号	部課係名	役職名
								開始	終了					
00100101	001	〇〇建設株式会社	13101	東京都千代田区	更新	搬出	工事発注が済んだ時の情報	2018年07月	2018年10月	第2種建設発生土	1,400	03-XXXX-XXXX	土木部	課長

マッチング番号	業者コード	業者名	住所コード	施工場所	土量状況	搬出入区分	情報ランク	土工期(年月)		土質区分	土量 (m3)	電話番号	部課係名	役職名
								開始	終了					
00100201	001	〇〇建設株式会社	13104	東京都新宿区	更新	搬入	工事発注が済んだ時の情報	2018年08月	2019年02月	第2種建設発生土	1,800	03-XXXX-XXXX	土木部	課長

マッチング番号	業者コード	業者名	住所コード	施工場所	土量状況	搬出入区分	情報ランク	土工期(年月)		土質区分	土量 (m3)	電話番号	部課係名	役職名
								開始	終了					
00100301	001	〇〇建設株式会社	13102	東京都中央区	更新	搬出	工事発注が済んだ時の情報	2018年08月	2018年10月	第2種建設発生土	1,500	03-XXXX-XXXX	土木部	課長
00100302	001	〇〇建設株式会社	13102	東京都中央区	更新	搬入	工事発注が済んだ時の情報	2018年11月	2018年12月	第2種建設発生土	1,500	03-XXXX-XXXX	土木部	課長

マッチング番号	業者コード	業者名	住所コード	施工場所	土量状況	搬出入区分	情報ランク	土工期(年月)		土質区分	土量 (m3)	電話番号	部課係名	役職名
								開始	終了					
00100401	001	〇〇建設株式会社	13103	東京都港区	更新	搬出	工事発注が済んだ時の情報	2018年08月	2018年10月	第2種建設発生土	2,100	03-XXXX-XXXX	土木部	課長
00100402	001	〇〇建設株式会社	13103	東京都港区	更新	搬出	工事発注が済んだ時の情報	2018年11月	2018年12月	第2種建設発生土	1,300	03-XXXX-XXXX	土木部	課長

マッチング番号	業者コード	業者名	住所コード	施工場所	土量状況	搬出入区分	情報ランク	土工期(年月)		土質区分	土量 (m3)	電話番号	部課係名	役職名
								開始	終了					
00100501	001	〇〇建設株式会社	13113	東京都渋谷区	更新	搬入	工事発注が済んだ時の情報	2018年08月	2018年12月	第2種建設発生土	2,600	03-XXXX-XXXX	土木部	課長
00100502	001	〇〇建設株式会社	13113	東京都渋谷区	削除	搬入	工事発注が済んだ時の情報	2018年11月	2018年12月	第2種建設発生土	0	03-XXXX-XXXX	土木部	課長

- 土量情報に変更があった場合は、土量情報状況を「更新」に修正してください。
- 工事間利用調整等で土量情報の提出が不要になった場合は、土量情報状況を「削除」に修正してください。

担当者名	E-mailアドレス	工事名称	仮置場有無	土量情報 最終更新日時	土質情報	土壌分析 調査有無	搬入(利用)用途	利用調整(年月日)		特記事項	添付PDF
								申込期限	終了期限		
発生土太郎	xxxxx01@xxx.co.jp	平成30年度〇〇掘削工事	有	2018/08/25 14:00	関東ローム	有		2018年08月17日	2018年08月31日	大型ダンプ利用可能	土壌分析試験結果

担当者名	E-mailアドレス	工事名称	仮置場有無	土量情報 最終更新日時	土質情報	土壌分析 調査有無	搬入(利用)用途	利用調整(年月日)		特記事項	添付PDF
								申込期限	終了期限		
発生土太郎	xxxxx01@xxx.co.jp	平成30年度〇〇造成工事	無	2018/10/20 17:00			土地造成(宅地造成)	2018年08月10日	2018年08月31日		

担当者名	E-mailアドレス	工事名称	仮置場有無	土量情報 最終更新日時	土質情報	土壌分析 調査有無	搬入(利用)用途	利用調整(年月日)		特記事項	添付PDF
								申込期限	終了期限		
発生土太郎	xxxxx01@xxx.co.jp	平成30年度〇〇掘削工事	未定	2018/09/01 17:00	関東ローム	調査中		2018年08月20日	2018年08月31日		発生元証明書
発生土太郎	xxxxx01@xxx.co.jp	平成30年度〇〇造成工事	未定	2018/11/05 17:00			土地造成(宅地造成)	2018年11月10日	2018年11月30日		

担当者名	E-mailアドレス	工事名称	仮置場有無	土量情報 最終更新日時	土質情報	土壌分析 調査有無	搬入(利用)用途	利用調整(年月日)		特記事項	添付PDF
								申込期限	終了期限		
発生土次郎	xxxxx02@xxx.co.jp	平成30年度〇〇掘削工事	未定	2018/08/20 17:00	マサ土	調査中		2018年08月10日	2018年08月31日		
発生土次郎	xxxxx02@xxx.co.jp	平成30年度△△掘削工事	未定	2018/11/10 17:00		無		2018年11月10日	2018年11月30日		

担当者名	E-mailアドレス	工事名称	仮置場有無	土量情報 最終更新日時	土質情報	土壌分析 調査有無	搬入(利用)用途	利用調整(年月日)		特記事項	添付PDF
								申込期限	終了期限		
発生土次郎	xxxxx02@xxx.co.jp	平成30年度〇〇造成工事	未定	2018/09/01 17:00			土地造成(宅地造成)	2018年08月10日	2018年08月31日		
発生土次郎	xxxxx02@xxx.co.jp	平成30年度△△造成工事	未定	2018/11/10 17:00			土地造成(宅地造成)	2018年11月10日	2018年11月30日		

《様式5》マッチング調整結果情報提出表

マッチング調査結果情報提出表

建設発生土利用調整結果						
工事間 利用の有無	工事間利用が実現しなかった理由		最終的な搬出先	最終的な調達先	最終的な搬出先・調達先情報	
	5.その他の場合、理由を具体的に記入				所在地	名称
1(実現した)			1(他の工事現場)		東京都港区	マッチング番号: XXXXXXXX
2(実現しなかった)	2(土質が一致する工事が無かった)		3(土質改良プラント)		東京都港区	〇〇土質改良プラ ント

リストから選
択してください。

[選択項目]
・実現
・実現せず

実現せずの場合
リストから選択してください。

[選択項目]
1. 土工期が一致する工事が無かった
2. 土質が一致する工事が無かった
3. 土工期、土質が一致する工事はあったが、利用調整を試みなかった
4. 土工期、土質が一致する工事はあったが、利用調整に相当の時間を要したため、工事間利用できなかった
5. その他

その他の場合
理由を具体的に
入力してく
ださい。

リストから選択してください。

[選択項目]
1. 他の工事現場
2. 現場内利用
3. 土質改良プラント
4. 建設発生土ストックヤード
5. 海面処分場
6. 民間内陸受入地
7. 公共内陸受入地

リストから選択してください。

[選択項目]
1. 他の工事現場
2. 現場内利用
3. 土質改良プラント
4. 建設発生土ストックヤード
5. 建設汚泥中間処理施設（建設汚泥処理土利用）
6. 新材利用

住所
を入力して
ください。

搬出先・搬
入元
を入力して
ください。

記入例

土量情報
(予定情報)

マッチング調査結果情報提出表

土量番号	〽 省略 〽	建設発生土利用調整結果							
		搬出入区分	工事間 利用の有無	工事間利用が実現しなかった理由		最終的な搬出先	最終的な搬入元	最終的な搬出先・搬入元の情報	
				その他の理由				住所	名称
00100101		搬出	実現			他の工事現場		東京都練馬区◎◎二丁目△△	◆◆◆建設工事

土量番号	〽 省略 〽	建設発生土利用調整結果							
		搬出入区分	工事間 利用の有無	工事間利用が実現しなかった理由		最終的な搬出先	最終的な搬入元	最終的な搬出先・搬入元の情報	
				その他の理由				住所	名称
00100201		搬出	実現せず	土質が一致する工事が無かった				東京都足立区〇〇三丁目■■	近隣の農地

土量番号	〽 省略 〽	建設発生土利用調整結果							
		搬出入区分	工事間 利用の有無	工事間利用が実現しなかった理由		最終的な搬出先	最終的な搬入元	最終的な搬出先・搬入元の情報	
				その他の理由				住所	名称
00100301		搬入	実現				他の工事現場	東京都三鷹市〇〇四丁目△△	▼▼▼新設工事

土量番号	〽 省略 〽		建設発生土利用調整結果						
		搬出入区分	工事間 利用の有無	工事間利用が実現しなかった理由		最終的な搬出先	最終的な搬入元	最終的な搬出先・搬入元の情報	
				その他の理由				住所	名称
00100401		搬入	実現せず	土質が一致する工事が無かった			新材利用		

土量番号	〽 省略 〽		建設発生土利用調整結果						
		搬出入区分	工事間 利用の有無	工事間利用が実現しなかった理由		最終的な搬出先	最終的な搬入元	最終的な搬出先・搬入元の情報	
				その他の理由				住所	名称
00100501		搬出	実現せず	土工期、土質が一致する工事はあったが、利用調整に相当の時間を要したため、工事間利用できなかった		土質改良プラント		東京都港区●●一丁目□□	〇〇プラント
00100502		搬出	実現せず	土質が一致する工事が無かった		民間内陸受入地		東京都青梅市●●地先	□□採取場

土量番号	〽 省略 〽	建設発生土利用調整結果							
		搬出入区分	工事間	工事間利用が実現しなかった理由		最終的な搬出先	最終的な搬入元	最終的な搬出先・搬入元の情報	
			利用の有無	その他の理由				住所	名称
00100601		搬入	実現せず	その他	発生した土質の性状が悪かった		現場内利用		
00100602		搬入	実現せず	土工期、土質が一致する工事はあったが、利用調整に相当の時間を要したため、工事間利用できなかった			新材利用		

土量番号	〽 省略 〽		建設発生土利用調整結果						
		搬出入区分	工事間	工事間利用が実現しなかった理由	その他の理由	最終的な搬出先	最終的な搬入元	最終的な搬出先・搬入元の情報	
			利用の有無					住所	名称
00100701		搬出	実現せず	土工期が一致する工事がなかった		民間内陸受入地		東京都青梅市●●地先	☐ 採取場
00100702		搬入	実現せず	その他	土砂の搬入が不要となった				

《様式6》ダウンロードファイル（Excel 形式公開データ）

搬出一覧例

※民間工事一覧は民間工事土量情報提出表のとりまとめ情報

No	マッチング番号	業者コード	業者名	住所コード	施工場所	搬出入 区分	情報ランク	土工期		土質区分	土量 (m3)	電話番号	部課係名	役職名	担当者名	E-mailアドレス	工事名称	仮置場有無	土量情報 最終更新日時	土質情報	土壌分析 調査有無	搬入(利用)用途	利用調整(年月日)		特記事項	添付PDF
								開始	終了														申込期限	終了期限		
								2018年07月	2018年10月														2018年08月17日	2018年08月31日		
1	00100101	001	〇〇建設(株)	13104	東京都新宿区	搬出	計画数量の情報	2018年07月	2018年10月	第3種建設発生土	1,300	03-XXXX-XXXX	工事部	主任	建設太郎	xxxxx01@xxx.co.jp	平成30年度〇〇掘削工事	有	2018/06/25 14:00	関東ローム	有				大型ダンプ利用可能	http://matching.reocyclejaic.or.jp/matching/xxxxxx.pdf
2	00100102	001	〇〇建設(株)	13104	東京都新宿区	搬出	工事発注が済んだ時の情報	2018年08月	2018年12月	第2種建設発生土	700	03-XXXX-XXXX	東京支店	副所長	副産物花子	xxxxx02@xxx.co.jp	平成30年度△△掘削工事	未定	2018/06/26 17:00		無					http://matching.reocyclejaic.or.jp/matching/xxxxxx.pdf
3																										
4																										
5																										

※公共工事一覧は建設発生土情報交換システムに登録されている情報

No	マッチング番号	機関コード	発注者名	住所コード	施工場所	搬出入 区分	情報ランク	土工期		土質区分	土量 (m3)	電話番号	部課係名	役職名	担当者名
								開始	終了						
1	12345601	101830205	関東地方整備局 東京国道事務所	13101	東京都千代田区	搬出	想定数量の情報	2015年06月	2016年01月	第2種建設発生土	1,000	03-XXXX-XXXX	土木部〇〇課	専門官	建設次郎
2	12398701	101830215	関東地方整備局 首都国道事務所	13101	東京都千代田区	搬出	工事発注が済んだ時の情報	2015年08月	2015年09月	第1種建設発生土	1,500	03-XXXX-XXXX	土木部〇〇課	専門官	建設次郎
3	12345701	101830205	関東地方整備局 東京国道事務所	13103	東京都港区	搬出	計画数量の情報	2015年10月	2016年02月	第2種建設発生土	2,300	03-XXXX-XXXX	土木部△△課	主幹	建設太郎
4															
5															

搬入一覧例

※民間工事一覧は民間工事土量情報提出表のとりまとめ情報

No	マッチング番号	業者コード	業者名	住所コード	施工場所	搬出入 区分	情報ランク	土工期		土質区分	土量 (m3)	電話番号	部課係名	役職名	担当者名	E-mailアドレス	工事名称	仮置場有無	土量情報 最終更新日時	土質情報	土壌分析 調査有無	搬入(利用)用途	利用調整(年月日)		特記事項	添付PDF
								開始	終了														申込期限	終了期限		
								2018年07月	2018年10月														2018年08月17日	2018年08月31日		
1	00100101	001	〇〇建設(株)	13104	東京都新宿区	搬入	計画数量の情報	2018年07月	2018年10月	第3種建設発生土	1,300	03-XXXX-XXXX	工事部	主任	建設太郎	xxxxx01@xxx.co.jp	平成30年度〇〇造成工事	有	2018/06/25 14:00	関東ローム		土地造成(宅地造成)				
2	00100102	001	〇〇建設(株)	13104	東京都新宿区	搬入	工事発注が済んだ時の情報	2018年08月	2018年12月	第2種建設発生土	700	03-XXXX-XXXX	東京支店	副所長	副産物花子	xxxxx02@xxx.co.jp	平成30年度△△造成工事	未定	2018/06/26 17:00			土地造成(宅地造成)				
3																										
4																										
5																										

※公共工事一覧は建設発生土情報交換システムに登録されている情報

No	マッチング番号	機関コード	発注者名	住所コード	施工場所	搬出入 区分	情報ランク	土工期		土質区分	土量 (m3)	電話番号	部課係名	役職名	担当者名
								開始	終了						
1	12345601	101830205	関東地方整備局 東京国道事務所	13101	東京都千代田区	搬入	想定数量の情報	2015年06月	2016年01月	第2種建設発生土	1,000	03-XXXX-XXXX	土木部〇〇課	専門官	建設次郎
2	12398701	101830215	関東地方整備局 首都国道事務所	13101	東京都千代田区	搬入	工事発注が済んだ時の情報	2015年08月	2015年09月	第1種建設発生土	1,500	03-XXXX-XXXX	土木部〇〇課	専門官	建設次郎
3	12345701	101830205	関東地方整備局 東京国道事務所	13103	東京都港区	搬入	計画数量の情報	2015年10月	2016年02月	第2種建設発生土	2,300	03-XXXX-XXXX	土木部△△課	主幹	建設太郎
4															
5															